

会報 いわて



一般社団法人

岩手県臨床検査衛生検査技師会



第27回岩手県医学検査学会

Focus on the future

～未来を見据えた臨床検査技師を目指して～

会 期	2024年10月19日(土)
開 催 地	盛岡市(いわて県民情報交流センター)
主 催	一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
開催担当	三陸地区技師会

ご協力いただきありがとうございました。

(い わ て)

令和 6 年度 第 1 回理事・部門長会議議事録

日 時 : 令和 6 年 8 月 31 日 (土曜日) 14:00~17:00

場 所 : 岩手医大内丸メディカルセンター会議室および WEB 開催

出席者 : 千葉寛、小野寺奈緒、佐々木まゆみ、下川波歩、千葉拓也、藤倉由規、新沼美穂子、朝岡千佳子、千枝貴幸、佐藤昴、畠山秀樹、山本将規、三浦采香、館野幸恵、畠山和枝、塩越真由美、千葉由紀、染谷俊裕

Web 参加 : 高橋一博、川村将史、浅沼匡輔、鈴木知子、中沢和浩

欠席 : 熊谷正邦、山根修一、肥田野靖史、熊谷公代

連絡事項

1. 日臨技からの連絡事項(千葉日臨技理事)

横地新体制となり福島県から山寺副会長が就任、桑原前支部長が執行理事、北日本支部長が北海道の早坂理事、北日本学術部長に青森の奥沢理事、福祉部長は山形の植木理事体制となった。

地域功労賞として北日本から福島県常務理事 10 年の藤野高志氏が表彰となった。

令和 6 年度能登半島地震後に災害支援人材育成・確保を目的とした web 研修 JIMTEF 災害医療ベーシックコース (20 講座 16 時間) への岩手から本間蒼氏 (遠野病院)、佐々木まゆみ理事 (大槌病院) 2 名を推薦した。1 名分は日臨技負担、佐々木まゆみ理事の受講料 15,000 円は岩臨技での負担とする。

2023 年の品質保証施設認証施設、岩手からは 4 施設。

臨地実習指導者講習 岩手の目標は 4 施設で、基準を満たす施設の中での修了者は 3 施設 基準を満たさない施設の修了者もあり、今後満たすように働きかける。臨地実習指導者講習未受講の施設の最初の 1 名は無料になるので受講を促す。医師同様、実習生受け入れ施設が多ければリターン就職も期待できる。

タスク・シフト/シェア研修講師で 2 領域を務めた場合の謝金が設定。

北日本支部医学検査学会最終的に 156 演題 岩手 9 演題。

2026IFBLS 開催年に北日本学会をどうするかについて課題であったが、秋田県で開催。

演題等が偏る懸念もあるが、企画・セミナー等の検討も

2. 日臨技総会投票率について (高橋会長)

投票率は 71.62% でした。ご協力ありがとうございました。

次年度も、各施設で電磁決済での投票を推奨。

3. 今後の活動計画について

○第 27 回岩手県医学検査学会準備進捗状況について (新沼三陸地区会長)

10 月 19 日に向けて作業中。

プログラム集は、広告入れて 36 ページです。700 部印刷。

ホームページ掲載については、浅沼氏にお願いします。

配布方法については、盛岡地区の一部配布にし、残りは郵送にする。個人会員等に関しては、レターパック等での郵送。

(い わ て)

○記念式典について（千葉副会長）

8月19日、日臨技代表理事宛（横地会長）に記念式典祝辞の依頼状を発送した。当日沖縄県技師会と重なっており、これから調整を図り山寺副会長代行となるものか決定される予定。

祝賀会祝辞についても早坂北日本支部長宛で発送済。

早坂支部長は13時式典から参加できるよう調整を諮っていた。

支部長の宿泊とあわせて2名分の宿泊を手配する。

○記念式典の総括責任者 千葉副会長 会計の佐藤昂氏と協力

記式次第の草案は千葉副会長が作成、理事会で承認された。

○各地区会長推薦表彰者はどうなっているか

盛岡：石澤毅士氏

三陸：紺野利一郎氏

中部：岩渕義文氏

北部、南部は、それぞれの地区の会長欠席の為、後日確認する。

表彰者への案内は、事務局から願います。祝賀会への出席はまだ確認していない。

○表彰状、記念品の有無、ある場合の準備について

表彰状、記念品については、QUOカード・図書カード等含め、次の理事会で協議する。

予算については、記念祝賀会から計上も含め次の理事会で協議する。

○記念祝賀会について（佐藤会計）

余興については、抽選会、スライドショー等検討中。

司会は、佐々木まゆみ理事に願います。

抽選会には、3名手伝ってもらおう

川村理事、浅沼理事と協力して協議中です。

祝賀会への参加事前登録者は、今のところ19名なのでこれから声掛けしていく。

○記念誌作成について（小野寺副会長）

岩臨技設立70周年・法人化35周年の記念誌を作成する。内容としては「施設紹介」「会長からの寄稿」「年表（過去の行事）」「写真（記念式典の写真も入れる）」を予定している。発行時期は12月頃（各施設＋自宅会員に発送予定）。

予算は100万円程度（県事務局で見積もり取得済み）。

記念誌発行に向けて編集委員会を組織する必要がある、各地区から編集委員の選出を願います。「施設紹介」は各地区の編集委員が取りまとめを行う。「年表」等は過去の資料を調べる必要があるため、数名で分担して作業を行う。

編集委員会（案）として、各地区1名以上＋小野寺で編成。地区編集委員の人数については、各地区会長に一任する。常務理事、県事務局にも協力をお願いする。

編集委員の選出は、9月17日までとし、9月末には第1回編集委員会を開催予定とする。

編集委員会の連絡ツールは、サイボウズ含め検討。

写真については、祝賀会のスライドショーにも使用を考えているので早期に集めたい

（サイボウズのファイル管理にファイルを用意する）。

○タスクシフト／シェアについて（千葉副会長）

2024/6/16の004タスク・シフト／シェアは最低人数に達せず中止の判断となった。

(い わ て)

次回 11/24 アイーナ会場で 005 タスク・シフト/シェアとして募集を開始している。

北日本支部内では参加人数確保できず青森，秋田，山形でも年 2 回開催できない可能性が高いとの報告がされている。現時点 25 名の登録なので、あと 25 名足りないので、9/1 から県外へ拡大募集かける。

○安比リレーマラソンについて(川村常務理事)

日程：9 月 8 日（日）に開催される。

13 名 参加者は、走る人 13 名と走らない 2 名で 15 名参加予定。

○検査と健康展について(川村常務理事)

日程：11 月 10 日

場所：矢巾町活動交流センター「やはばーく」

スタッフは、盛岡地区+理事を考えています。

血管年齢、AED 体験コーナーを考えています。

○各地区活動について

北部地区(熊谷理事)：欠席のため後日確認する。

盛岡地区(川村常務理事)：総会は、Web 開催、研修会は、本日 Web で開催中です。

中部地区(鈴木理事)：総会は、書面開催。研修会については、1 回目は 9/25 Web で
の研修会を予定し、2 回目は、学術ではない交流会を企画して
いる。

南部地区(中沢理事)：地区の施設の統合等もあり、まだ落ち着いていない状況で総
会、研修会はこれからになります。

三陸地区(新沼理事)：総会は、書面開催。研修会については、1 回目は 7/25 に終了
しており、県外も含め 64 名の参加があった。2 回目は、宮古
の技師長と相談して企画中。

○地域ニューリーダー研修について (高橋会長)

年度内 (2 月) までには実施したい。岩手以外は決定している。

○自治体との災害協定締結について (高橋会長)

岩手県保健福祉部と 6 月 21 日に打ち合わせを行った。

日臨技から協定書の雛型が提示される予定であり、岩手県に当てはめて作成を行い、協定
締結に向け進める。医師会や岩手医大の間瀬先生とも打ち合わせが必要と見込まれる。

東北で唯一宮城が締結しているので、資料を送ってもらい協議する。

○北日本医学検査学会について(高橋会長)

12 月 14.15 日仙台市にて開催。演題募集は 8 月 21 日までで終了している。

各県 10 題の割り当てになっていた。

応募状況については、最終的に 156 演題 岩手 9 演題 一番少ない

○部門研修会の開催状況について(千葉副会長)

9 月末のまで 16 事業の開催である。そのうち助成金申請は 14 事業。8/31 時点 9 事業終
了。後援 1 事業で自己申請登録した。盛岡地区，三陸地区，中部地区，生化学，感染制
御，血液，病理・細胞診，生理，学術総合で申請。参加内訳として最大助成金 40 名に満
たなかったのは 3 事業になっている。

(い わ て)

○研修会開催について（小野寺副会長）

研修会開催にあたり支出規定やマニュアルを作成し、サイボウズ>ファイル管理>研修会関連（生涯教育）に保存し、学部を中心に運用してきた。マニュアル等は随時更新予定のため、研修会開催時には最新版を確認するようお願いする。

研修会費は学部で一括管理しているが、事前に運営費を渡すことが難しいケースもあり、来年度に向けて運用方法を検討する必要がある（年間計画に応じて部門ごとに予算を配布する等）。

参加費は、実技研修の場合に限り会員 1,000 円、非会員 8,000 円を徴収することとした（部門長が金額設定に悩まずに済むように一律とした）。実技研修に伴う支出の増加が予想されるため、今年度の収支をみて収支規定の見直し等も検討する。

研修会開催マニュアルや申請書類等は、学部を想定して作成しているため、地区研修会や公益事業で使用する際の運用についてご意見をいただきたい。

研修会の周知方法として、月 1 回（毎月 10 日頃）の「研修会情報」を配信しているが、日臨技への申請と岩臨技ホームページへの掲載が完了した時点で「新着情報」として個別の研修会情報の配信を始めた。学部の研修会年間計画は、会報発行時に更新し掲載をお願いしている。

岩臨技ホームページの研修会情報が見にくいので、レイアウト等の変更ができないか検討していただきたい（掲載内容が更新されていないところについても検討してほしい）。

ホームページのレイアウト変更が難しければ、研修会年間計画に地区研修会の情報も追記して、ホームページに掲載してほしい。参考までに秋田の研修会はカレンダー形式になっている。今後理事会で協議する。

○学部 各研究部門より

5 月に学部で会議を開催し、研修会開催について周知等を行った（議事録：サイボウズ>ファイル管理>部門長>2024 年度>学部）。部門長同士の意見交換も含め、非常に有意義であった。今後、研修会マニュアル等の見直しも必要となるため、9 月以降にも会議を行う予定。

（小野寺副会長）

生物化学分析部門（山本部門長）

特にはありませんが、精度管理試料作製等での負担については検討していただきたい。

遺伝子検査部門（三浦部門長）

今年度は 2 回行う予定。北日本支部研修会の担当で、研修会には、ウェビナーを使用する予定

生理機能部門（舘野部門長）

研修会の 1 回目は、9/28 に行う予定で、2 回目に関しては検討中です

病理・細胞検査部門（肥田野部門長）

欠席。9 月に研修会予定

(い わ て)

血液検査部門（染谷部門長）

研修会の1回目は終了しており、2回目は、9/10に予定されている。今後、顕微鏡を使用する研修会（11月16日）を企画している。万が一顕微鏡の破損等した場合の補償についてどうすればよいか。

実技研修で借用備品等の破損があった場合には、原則岩臨技で負担する。ただし、「故意に破損した場合には個人負担となることがある」旨、開催案内に注意書きとして記載する。補償については引き続き理事会で協議していく。

一般検査部門（畠山部門長）

10/18 県学会前日に、現地開催（アイーナ）で研修会（ナイトセミナー）予定している。北日本支部研修会が、10/12～13日現地開催：（札幌市）、オンデマンド配信 10/26～11/24 11月16日 岩手医科大学矢巾キャンパスで実技研修会を予定

感染制御部門（塩越部門長）

1回目は7/20 Webでの研修会、2回目は、9/28 実技を伴う研修会を企画している。

移植検査部門（千葉部門長）

1回目は、10月中に平日に行う予定。内容は「消去法について」、2回目は12/8 実技+研修会を企画している。

総合管理部門（小野寺部門長）

今年度も新人向けとして合同研修会を開催した。昨年度とは開催方法を変更したが、参加者の60%が10年以上のベテランであり、新人や5年未満の技師の参加は20%程度であった。アンケート結果から平日の夕方のWeb開催を希望する声が多かったため、来年度の参考にする精度管理報告会と合同で開催する研修会については未定。

○事務局移転の進捗状況について（下川事務局長）

盛岡近郊で、探しているが、アパートマンション等は、団体事業主では、借りにくい状況です。テナント扱としては、探すと家賃月20万円前後で厳しい状況です。

例えば、

放射線技師会では、一軒家を買って事務所としているようです。

初めに投資する形で1人1人から一律3万円くらい集めて一軒家を購入して、それぞれが技師会を脱退するときに3万円を返却する方式をとっているようです。

○令和7年以降の役員任期について（高橋会長）

岩臨技役員の任期は日臨技と1年ずれており、修正のため次回に限り任期を3年とする。

生物化学分析部門の山本部門長から交代の要望あり。他に移植検査部門、病理・細胞検査部門、感染制御部門、生理機能部門、総合管理部門でも部門長交代を検討中。次期部門長の推薦については、部門長に一任するのではなく、学術部全体で検討していく。

地区部門員が活動しているのは生理機能部門のみで、他の部門では機能していないのが現状である。実技研修や合同研修会が増えていることから、学術部として活動しやすい組織編成（組織図の見直し）を検討してほしい。（小野寺）今後の理事会での検討課題とする。

(い わ て)

○その他

「会報いわて」(藤倉)について

つなぐの掲載について、毎回原稿依頼者の選出に苦慮している。掲載者は、大体が岩手医大か県立病院に偏っている傾向なのでこれを機会に、中止して内容を見直ししてはどうでしょうか?→今後の理事会での検討課題とする。

精度管理調査について(千葉理事)

以下の日程で精度管理調査を行う(別紙資料あり)。部門長は会議資料を確認し、実施項目等について修正があれば9月6日までに連絡してほしい。

申込期間:9月30日(月)~10月15日(火)

試料配布:12月3日(火)

回答期間:12月3日(火)~12月13日(金)

報告会:2月8日(土)(会場:リリオ)

事務局から(下川事務局長)

研修会等でzoomを使用する場合は、サイボウズのスケジュールにてアカウント使用の登録を行うこと(再周知)。

日臨技より臨床検査技師における厚生労働省任期付職員の募集周知が共有された。



(い わ て)

第 64 回全国国保地域医療学会

参加報告が届いています

第 64 回全国国保地域医療学会に参加しました。

令和 6 年 10 月 4 日、岩臨技に参加要請のありました第 64 回全国国保地域医療学会に参加して参りました。この学会は、岩手県地域医療研究会から始まった学会で当時無医村が多かった県内の状態を憂い、集まった方々から研究会が発足し発展してきたようです。今回は 1,000 人規模の医療職種や国保に関わる自治体の行政担当者、首長等が参加しておりました。この中で「地域包括ケア」や「国保直診」というキーワードが頻繁に出てきていました。ご興味を持たれた方はぜひ検索してみてください。

学会内では岩臨技の会員の方がポスターセッションで発表されていました。

演題番号 216 心臓超音波検査について

一関市国民健康保険藤沢病院 土屋 未歩

演題番号 217 頸動脈超音波検査時に指摘された甲状腺異常所見の検討

～7 年間の集計より～

奥州市国民健康保険前沢診療所 相原 淳路

お二人とも落ち着いた良い発表をされていました。相原さんに写真掲載の許可を頂きました。ありがとうございました。

高橋一博



(い わ て)

公益事業 大腸がん予防啓発活動

あっぴりレーマラソン 2024 参加してきましたよ～

公益事業部長（いわてリハビリテーションセンター） 川村 将史

2024年9月8日(日)に安比高原スキー場を会場に行われた「あっぴりレーマラソン 2024」に参加してきました。公益事業活動の「がん予防啓発活動」の一環として最初に参加したのが、2014年でした。2019年まで6年連続で公益事業活動として参加しました。その後は新型コロナウイルス感染症の影響もあり岩臨技としては活動を自粛していましたが、この度、4年振りに参加してきました。あっぴりレーマラソンを利用して行い始めた公益事業がん予防啓発活動は今回で「10年目の記念すべき年」になりました。参加していただいた会員の皆様も体調を崩すことなく無事に活動を終了できたことに感謝いたします。今回の活動風景の写真は前々々（3期前）の会長の安保淳一氏に撮影していただきました。また、前会長の菊池英岳氏には走っていただき、現会長の高橋一博会長には公益事業活動として大腸がん予防啓発トイレトペーパーの配布をしていただきました。会長の皆様ありがとうございました。

今回は参加できなかった会員の皆様も来年はぜひとも一緒に公益事業を楽しみながら活動しましょう！。

今回が初参加となりました、岩手県立中央病院の玉澤 佳大さんに参加してのご感想をいただきました。玉澤さんありがとうございました。会員の皆様、今後ともよろしく願いいたします。



(い わ て)

あっぴりレーマラソン 2024 に参加して

岩手県立中央病院 玉澤 佳大

9月8日に開催されたあっぴりレーマラソンに初めて参加させていただきました。参加したきっかけは先輩が走るという話を聞いて、何気なく自分も出てみようかなという興味本位によるものでした。

大会当日は雲一つない晴天で真夏を思わせるほど暑い日となりました。コースは1周2kmで約21周をチームで襷を繋ぎながら制限時間4時間30分以内に走りきるというものです。私は当初平坦な道を想像しており、リレー形式のマラソンだし案外楽勝なのではないかと高を括っていました。そんな私を待ち受けていたのは長い坂道(しかも帰り道が上り坂)で、運動習慣のない私が地獄を見ることになったのは言うまでもありません。酷暑の中必死で坂道を上ることになりましたが、サポートメンバーの助けやチームメンバーの声援もあり無事2周を走りきることに成功しました。そしてメンバー全員が怪我をすることもなく、3時間40分という好タイムでゴールした瞬間には達成感でいっぱいになりました。

また大腸がん予防啓発の一環としてトイレ紙を配布したり、メンバーがカメラに向かってアピールするなど公益事業活動としても大成功を収めたと思われます。さらに走り終えた後にはバーベキューをしながら他施設の方々とも交流を深めることができ、大変充実した1日となりました。

最後に当日参加された方、また大会に向けて準備に携わっていただいた方々に感謝申し上げます。選手として出たい方はもちろん、サポートメンバーとして交流を深めたい方も歓迎しますので皆様のご参加お待ちしております。



令和6年度第2回感染制御部門研修会に参加して

岩手県立中央病院 田村 智子

今回は嫌気性菌について基礎から学ぶということで、前半は極東製薬工業株式会社の中間先生による講義、後半は実習形式の集合開催での研修会でした。講義では、嫌気性菌の特徴や分離培地の種類について学び、目的とする菌を分離するためにはどの培地が最適かを知ることができました。実習では講義を踏まえて、菌がどのように培地に発育しているかを観察し、実際に試薬を使って生化学性状を試してみました。最初に用意されていた菌名と実際に発育していた菌名が違うというハプニングもありましたが、性状を確認したり、みんなで話し合っただう菌であることに気づくことができました。普段の業務では行っていない紫外線照射も経験でき、菌がピンクや黄緑に光る様子も見ることができました。Web開催もいいですが、実際に様々な体験をすることができ、また他の病院の細菌検査業務をしている人たちとも交流ができ楽しい研修会でした。

嫌気性菌は発育に時間がかかり発育してもわかりづらかったりしますが、今回学んだことを活かして、より早く正確な結果を臨床に報告できるように日々の業務を取り組みたいと思います。



(い わ て)

令和6年度 岩臨技 学術部 研究部門 研修会予定

※ 太字：開催が確定している研修会（日臨技申請済み）

2024年

4月	20日	病理・細胞検査部門（現地開催）「2024年4月施行 労働安全衛生法に関する勉強会」
5月	25日	2024年度 岩臨技総会（Web開催）
6月	6日	生物化学分析部門（Web開催）「免疫検査のピットフォール」
	16日	タスクソフト実技講習会（岩手県 004）⇒ 開催最少人数に達しないため開催中止
7月	4日	学術部門合同研修会 part1（Web開催）「岩臨技の紹介、生化学・免疫検査」
	11日	学術部門合同研修会 part2（Web開催）「血液検査、一般検査」
	17日	学術部門合同研修会 part3（Web開催）「生理検査（心電図、ABI）、病理検査」
	20日	感染制御部門（Web開催）「薬剤耐性菌」
	24日	学術部門合同研修会 part4（Web開催）「輸血検査、細菌検査」
8月	6日	血液検査部門（Web開催）「夜間当直者の役に立つ採血・採血管取扱いの基礎知識（遭遇する可能性のある検査異常値まで）」
	24日	病理・細胞検査部門（現地開催）※ 内容は開催案内を参照
9月	10日	血液検査部門（Web開催）「夜間当直者に役立つ凝固検査の基礎知識（遭遇する可能性のある検査異常値まで）」
	12日	感染制御部門+染色体遺伝子部門（Web開催）「新型コロナウイルスにより普及した全自動PCR検査装置の活用について C.difficile、MRSAの検出にNAAT検査を導入する利点」
	28日	感染制御部門（現地開催）「嫌気性菌を学ぶ」
	28日	生理検査部門（現地開催）「ライブレクチャーで学ぶ脳波検査の基本手技」
10月	12~13日	※ 北日本支部臨床一般部門研修会（北海道/オンデマンド配信 10/26~11/24）
	18日	一般検査部門研修会（現地開催）「尿化学項目の概要とその周辺知識」「上皮細胞の鑑別法」
	19日	第27回岩手県医学検査学会
	19~20日	※ 北日本支部臨床生理部門研修会（福島/オンデマンド配信 10/28~11/24）
	26~27日	※ 北日本支部生物化学分析部門研修会（北海道/オンデマンド配信 11/2~12/2）
	29日	生物化学分析部門（Web開催）「肝炎検査の基礎と再活性化対策」
30日	移植検査部門（Web開催）「不規則抗体同定・消去法をマスターしよう」	
11月	16日	一般検査部門（現地開催）「顕微鏡の基礎知識と日常できるメンテナンス」「尿沈渣鏡検実習」
	16日	血液検査部門（現地開催）「顕微鏡の基礎知識と日常できるメンテナンス」「血液像鏡検実習」
	16日	※ 北日本支部臨床微生物部門研修会（福島）
	19日	染色体・遺伝子部門（Web開催）「染色体検査における検体採取と、個人遺伝情報としての取り扱い方」「遺伝子検査におけるFFPEスライド提出の注意点」
	24日	タスクソフト実技講習会（岩手県 005）
11日~12/13	※ 北日本支部病理細胞部門研修会（オンデマンド配信）	
12月	未定	移植検査部門（現地開催）「認定受験予定者向け研修会（実技あり）」

(い わ て)

2025 年

1月	10~31日	※ 北日本支部輸血細胞治療部門研修会 (オンデマンド配信)
	11日	※ 北日本支部遺伝子部門研修会 (zoom ウェビナー)
	18日~2/16	※ 北日本支部臨床血液部門研修会 (オンデマンド配信)
	20日~2/21	※ 北日本支部臨床検査総合部門研修会 (オンデマンド配信)
2月	8日	精度管理調査報告会・総合管理部門「内容未定」
3月		



タスク・シフト / シェアに関する厚生労働大臣指定講習会



タスク・シフト/シェアに関する
厚生労働大臣指定講習会

タスク・シフト/シェアは臨床検査技師の手で



岩手県 005

日時：2024年11月24日(日)

会場：いわて県民情報交流センター (アイーナ)

研修会情報

【令和6年度 第1回北部地区技師会研修会】

日時：2024年11月7日（木）17:00～18:00

会場：Web開催（Microsoft Teamsにて）

内容：「血液ガス分析検査についての学術トレーニング」

参加費：会員 無料 非会員 7000円

お知らせ

【令和6年度 岩臨技 第2回一般検査部門研修会】

日時：2024年11月16日（土）13:00～17:00

会場：岩手医科大学 矢巾キャンパス 西講義実習棟4階 4-B実習室（西402）

内容：「顕微鏡の基礎知識と日常できるメンテナンス」

「尿沈渣鏡検 実習」

参加費：会員・会費：1,000円 非会員：8,000円 ※参加費は当日、徴収します。

参加人数：20名

お知らせ

【令和6年度 岩臨技 第3回血液検査部門研修会】

日時：2024年11月16日（土）13:00～17:00

会場：岩手医科大学 矢巾キャンパス 西講義実習棟4階 4-B実習室（西402）

内容：「顕微鏡の基礎知識と日常できるメンテナンス」

「末梢血液像鏡検実習」

参加費：会員・会費：1,000円 非会員 8,000円 ※参加費は当日、徴収します。

参加人数：20名

お知らせ

【令和6年度 岩臨技 第2回染色体・遺伝子部門研修会】

日時：2024年11月19日（金）18:00～19:00

会場：Web開催（Zoom使用）

内容：「染色体検査における検体採取と、個人遺伝情報としての取り扱い方」

「遺伝子検査におけるFFPEスライド提出の注意点」

参加費：会員 無料 非会員 7000円

お知らせ

(い わ て)

第12回日臨技北日本支部医学検査学会



2024.12.14(土)・15(日) 仙台国際センター

学会長 ▶ 藤巻 慎一 東北大学病院 診療技術部 実行委員長 ▶ 鈴木 里香 みやぎ県南中核病院 検査部
副学会長 ▶ 菅原 勲 石巻赤十字病院 病理部 事務局長 ▶ 勝見 真琴 東北大学病院 診療技術部

主催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 担当：一般社団法人宮城県臨床検査技師会

【主催事務局】(一社)宮城県臨床検査技師会
〒984-0075 仙台市若林区清水小島 5-6 エステート五橋 7F 704号
TEL : 022-723-4896 FAX : 022-723-4901

【運営事務局】株式会社メッド 〒108-6028 東京都港区港南 3-15-1
TEL : 03-6717-2790 FAX : 086-463-5345(岡山本社)
E-mail : jamt-kt2024@med-gakkai.org

(い わ て)



～編集後記～

夏の暑さが過ぎ去りいつの間にか過ごしやすい季節になりました。スポーツの秋・芸術の秋・読書の秋。この時期は学会や研修会も多く学びの秋でもあります。

皆様も充実した秋をお過ごしください。

(kuma)



会報「いわて」第 349 号 2024.10

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会
発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：熊谷 公代

藤倉 由規

〒020-8505 盛岡市内丸 19-1 岩手医大中検内

Tel. (019)613-6111 内線 3699